

## 問 いじめ対策の取り組みを問う

**答** いじめ防止に全力で取り組み

松井 甫 議員

**問** 宍粟市の小・中学校で深刻ないじめが起きていないか、大丈夫なのかと不安にかられる思いがする。私達は真剣に考え、いじめの問題解決に立ち上がらなければなりません。それでは次の点について伺いたい。

まず、宍粟の実態と防止策を問う。次に子どもが悩みを抱えた際、どうされますか。次に子どもや保護者から担任や校長先生への相談体制を問う。次に常態的な言葉のいじめはないか、最後に教育委員会として学校への点検・指導を問う。

### 教育長

宍粟の小・中学校のいじめ発生件数は11月末現

在12件であります。有効な防止策はありませんが、教職員一致協力をして最善の努力をしていきたい。次に学校での相談体制は、担任との信頼を深め学校長や先生方と連携して相談を充実させる。次に学校内の連絡・報告・相談体制は、再三に亘り万全を期すよう確認している。次に常態的な言葉のいじめをなくすため一層指導したい。最後に学校現場の点検と指導について、いじめの総点検、子どもへの自助力の育成、地域との連携等に努める。



## 問 補助金の実態がわかりにくい

**答** より分かりやすく透明なものを出す

岸本 義明 議員

**問** 補助事業は200件以上あり、総額で13億円余。市単独のものだけでも170件余で5億円を超える。厳格に補助規則に従った運用をしているか。

### 市長・福祉部長・産業部長

事業が行政目的に沿ったものか、効果はどうか、適正支出額かなど政策会議で審議して決定し、適正に運用している。事業終了後は検証もしている。

### 問

事業終了後検証していると言いなから、更に今回行政改革大綱で「見直しをして最低10%削減する」といつている。どういうことか。これまでの補助金には不適切なものが含まれてい

るということか、もっと厳しい基準で交付の可否、金額の適否を判断するということか。

### 市長

「長年補助をしてきたので」という職員の意識と「補助があつて当たり前」という事業者の意識を変えて、住民ニーズ、効果、効率などの視点で、団体向けに10%削減を目標に見直しをする。

### 問

200を超える補助事業の実態を適切に判断できる資料の形式を提案するので、それに沿った形で議会に提出していただきたい。

### 助役

提案された資料を参考に、より分かりやすいものを作成し提出する。

## 問 各市民局長の決裁権は

**答** 1,000万円未満です

秋田 裕三 議員

### 問

現地解決型と市長は言われるが市民局長の決裁権を縮小すれば本庁より遠隔地の波賀、千種、一宮のサービスは物理的に機能が減することを危惧します。又、年間予算の概算はいくらか。

### 市長

市民局長の決裁権は1,000万円未満。予算は18年度一般会計上下水道合わせて山崎834百万円、一宮762百万円、波賀629百万円、千種1,364百万円。

### 問

ゴミ収集のパンフレット表現に4町差異があるが収集後の工程数を減らす仕組みが必要ではないか。

### 福祉部長

旧町のまま、市内で統一は出来ていない現状です。19年度中に市ゴミ分別収集計画を整備し21年に収集を開始します。

### 問

税滞納問題で本年9月から11月までの改善進捗率は。水道、下水、軽自動車の滞納実態は。

### 総務部長

8月末比で5%向上し13.72%の30,003千円、18年度で軽自動車276台で760万円。

### 水道局長

水道30名、743万円、下水道272名、225万円。